令和5年度　第2学年　社会科　地理的分野　年間指導計画

担当:町田明良

学期	項目 （◎ 学習課題）	学習内容・ 学習活動	指導上の留意点	評価規準の具体例 ①＝知識・技能　②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
第3部　日本のさまざまな地域				
	第2章　日本の地域的特色 **■章の問い■**　日本の自然環境や人口，産業には，どのような特色があるのだろうか。	**＜第3部第2章のねらい＞** 「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目を取り上げ，分布や地域などに着目して，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ①日本の地形や気候の特色，海洋に囲まれた日本の国土の特色，自然災害と防災への取組などを基に，日本の自然環境に関する特色を理解させる。 ①少子高齢化の課題，国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に，日本の人口に関する特色を理解させる。 ①日本の資源・エネルギー利用の現状，国内の産業の動向，環境やエネルギーに関する課題などを基に，日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解させる。 ①国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況，これを活用した陸上，海上輸送などの物流や人の往来などを基に，国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解させる。 ①「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ，我が国の国土の特色を大観し理解させる。 ①日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に，地域区分をする技能を身に付けさせる。 ②「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について，それぞれの地域区分を，地域の共通点や差異，分布などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現させる。 ②日本の地域的特色を，「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分などに着目して，それらを関連付けて多面的・多角的に考察し，表現させる。 ③日本の地域的特色と地域区分について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。		**＜第3部第2章の評価規準＞** ①日本の地形や気候の特色，海洋に囲まれた日本の国土の特色，自然災害と防災への取組などを基に，日本の自然環境に関する特色を理解している。 ①少子高齢化の課題，国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に，日本の人口に関する特色を理解している。 ①日本の資源・エネルギー利用の現状，国内の産業の動向，環境やエネルギーに関する課題などを基に，日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解している。 ①国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況，これを活用した陸上，海上輸送などの物流や人の往来などを基に，国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解している。 ①「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ，我が国の国土の特色を大観し理解している。 ①日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に，地域区分をする技能を身に付けている。 ②「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について，それぞれの地域区分を，地域の共通点や差異，分布などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現している。 ②日本の地域的特色を，「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分などに着目して，それらを関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 ③日本の地域的特色と地域区分について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
2年1学期	**1　山がちな日本の地形** ◎日本の国土には，どのような地形的な特色があるのだろうか。	日本の山地や造山帯の特色を理解する。	世界の火山の分布と日本列島の位置との関係に着目させる。	地図を活用して，世界の火山の分布を適切に読み取り、我が国が山がちな国土となっていることを理解している。 ②世界や日本の産地の分布を基にして、我が国の地形的な特色を多面的・多角的に考察させる。

２年１学期	**２　川がつくる地形と海岸や海洋の特色** ◎日本の平野や海岸，日本を取り巻く海には，どのような特色があるのだろうか。	日本の川と平野との関係や特色を理解する。	世界の川や平野の特色と比較し、その違いに気付かせる。	①資料から世界と日本の川や平野の違いを比較しながらそれぞれの特色を読み取り、日本の川や平野の地形的な特色を理解している。 ②日本の川や平野の特色を，世界の川や平野の特色と比較して多面的・多角的に考察している。
２年１学期	**３　日本の気候** ◎日本各地の気候を比較すると，地域によってどのような違いがあるのだろうか。	日本の気候の特色や地域による違いを理解する。	景観写真や雨温図から日本の気候が大きく六つに分けられることに気付かせる。	①雨温図から日本の六つの気候の違いを適切に読み取り、日本の六つの気候の特色を理解している。 ②太平洋側と日本海側で降水量の多い時期が異なる理由を，季節風や地形と関連付けて多面的・多角的に考察している。
２年１学期	**４　日本のさまざまな自然災害** ◎日本で発生する自然災害は，地形や気候とどのような関係があるのだろうか。	日本で発生する自然災害の特色を理解し，地形や気候など自然環境との関連や課題を考える。	これまで発生した自然災害の具体的な事例を活用させる。	①さまざまな資料から，日本の災害の分布を適切に読み取り、日本で発生する自然災害の特色や課題を理解している。 ②さまざまな自然災害が起こる理由を地形や気候など自然環境と関連付けて多面的・多角的に考察している。
２年１学期	**５　自然災害に対する備え** ◎国や地域は，自然災害を防いだり，被害を少なくしたりするために，どのような工夫をしているのだろうか。	日本で取り組まれている防災や減災の取り組みを理解し，自然災害に対する備えを考える。	具体的に行われている取り組みをもとに，これからの自然災害への備えを主体的に考えさせる。	①ハザードマップを活用し，自然災害の情報を適切に読み取り、日本で取り組まれている防災や減災の取り組みの特色を理解している。 ②日本で取り組まれている防災や減災の取り組みをもとに，自然災害に対する備えを多面的・多角的に考察している。
２年１学期	**６　日本の人口** ◎日本の人口分布や人口構成は，どのように変化してきたのだろうか。	日本の人口分布や年齢別人口構成の特色を理解し，人々の生活に及ぼす影響を考える。	人口ピラミッドの変化から日本が少子高齢社会になったことや人々の生活に及ぼす影響について考えさせる。	①分布図や人口ピラミッドを活用して，日本の人口分布や年齢別人口構成の特色を適切に読み取り、日本の人口分布や年齢別人口構成の特色や課題を理解している。 ②日本が少子高齢社会になったことが人々の生活に及ぼす影響について多面的・多角的に考察している。
２年１学期	**７　日本の資源･エネルギーと電力** ◎日本では，資源を有効に活用するために，どのような取り組みが行われているのだろうか。	日本における資源の有効活用や持続可能な社会の実現に向けてのエネルギー活用について考える。	東日本大震災での原子力発電所の事故以来，変化してきている日本の資源やエネルギーに関する考え方に着目させる。	①さまざまな資料から，東日本大震災での原子力発電所の事故以来，変化してきている日本の資源やエネルギーに関する考え方を適切に読み取り、日本の資源・エネルギーと電力の現状や課題を理解している。 ②日本における資源の有効活用や持続可能な社会の実現に向けてのエネルギー活用について多面的・多角的に考察している。

2年1学期	**8　日本の農業・林業・漁業とその変化** ◎日本の農業・林業・漁業には，どのような特色や課題があるだろうか。	日本の農業・林業・漁業の特色や課題，変化を理解する。	海外との競争や従事者の高齢化や後継者不足などが大きな課題となっていることに気付かせる。	①さまざまな資料から日本の農業地域の分布や各地方の農業生産の特色や課題を適切に読み取り日本の農業・林業・漁業の特色を理解している。 ②海外との競争や従事者の高齢化や後継者不足などの課題解決を多面的・多角的に考察している。
2年1学期	**9　日本の工業とその変化** ◎日本の工業にはどのような特色があり，工場の立地はどのように変化してきたのだろうか。	日本の工業地域の分布や工業出荷額をもとに，日本の工業の特色と変化、課題を理解する。	日本の工場の立地が変化する理由や日本の企業が海外に進出する理由を考えさせる。	①工業出荷額の内訳を示す統計資料から日本のおもな工業地帯・工業地域の特色を適切に読み取り、日本の工業の変化や課題を理解している。 ②日本の工場の立地が変化する理由や日本の企業が海外に進出する理由を多面的・多角的に考察している。
2年1学期	**10　日本の商業・サービス業** ◎日本の産業の中心である商業やサービス業には，どのような特色や変化がみられるのだろうか。	日本の商業・サービス業の現状と課題を理解する。	産業の高度化が進む中で，特に近年，サービス業の中でも情報通信技術（ICT）関連産業が急速に拡大していることに着目させる。	①さまざまな資料から，商業やサービス業での成長分野を適切に読み取り、日本の商業・サービス業の現状と課題を理解している。 ②テレビやインターネットを利用した無店舗販売や情報通信技術（ICT）関連産業が急速に拡大することによっておこる社会の変化や影響について多面的・多角的に考察している。
2年1学期	**11　日本の交通網・通信網** ◎交通網や通信網が発達したことで，日本と世界や国内の地域間の結びつきはどのように変化したのだろうか。	交通網や通信網が発達することによっておこった，世界や日本の地域間の結びつきの変化を理解する。	世界や日本の地域間の結びつきが強まったことによって利点や問題点に気付かせる。。	①さまざまな資料から，交通網や通信網が発達することによっておこった，世界や日本の地域間の結びつきの変化を適切に読み取り、世界や日本の地域間の結びつきの変化や特色を理解している。 ②世界や日本の地域間の結びつきが強まったことによる利点や問題点をそれぞれ多面的・多角的に考察している。
2年1学期	**12　さまざまな地域区分** ◎日本をいくつかの地域に区分する場合，どのような分け方ができるのだろうか。	日本を区分するさまざまな視点を知り，さまざまな地域区分があることを理解する。	形式地域による区分であるのか，実質地域による区分であるのかに留意しながら区分の仕方を理解させる。	①さまざまな地域区分を分類し，表などに整理し、さまざまな地域区分の仕方や目的について理解している。 ②７地方区分以外の地域区分がある理由を，区分の目的や基準などから多面的・多角的に考察している。
2年1学期	章の学習を振り返ろう **■章の問い■**　日本の自然環境や人口，産業には，どのような特色があるのだろうか。	「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結びつき」など日本の地域的特色の基本的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	分布や地域などに着目しながら、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結びつき」など日本の地域的特色やそこで生ずる課題に気を付けさせる。	①分布や地域などに着目して、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結びつき」など日本の地域的特色を整理している。 ②第１章の問いを、単元の学習の成果を生かして多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、系統的に見た日本の地域的特色や課題、これからの日本の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。

第2章　日本の諸地域	**＜第3部第3章のねらい＞** 　下の(1)から(5)までの考察の仕方を基にして，空間的相互依存作用や地域などに着目して，主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 (1)自然環境を中核とした考察の仕方 (2)人口や都市・村落を中核とした考察の仕方 (3)産業を中核とした考察の仕方 (4)交通や通信を中核とした考察の仕方 (5)その他の事象を中核とした考察の仕方 ①幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について，その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ①上の(1)から(5)までの考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解させる。 ②日本の諸地域において，それぞれ左の(1)から(5)までで扱う中核となる事象の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現させる。 ③日本の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。		**＜第3部第3章の評価規準＞** ①幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について，その地域的特色や地域の課題を理解している。 ①左の(1)から(5)までの考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解している。 ②日本の諸地域において，それぞれ左の(1)から(5)までで扱う中核となる事象の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現すること。 ③日本の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
第1節　九州地方 **■節の問い■**　九州地方の自然環境は，人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	**＜この節のねらい＞** 他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、九州地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成する。		**＜この節の評価基準＞** ①地図や資料から，九州地方の自然環境の特色やそれを生かした産業，自然災害や防災への取り組みを読み取り、九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色や，人々の生活や産業と自然環境とのかかわりについて理解している。 ②自然環境に注目しながら，九州地方に暮らす人々の生活と産業との関係について多面的・多角的に考察している。 ③九州地方の自然環境と生活，産業との関係について関心をもち，九州地方の特色を主体的に追究しようとしている。
2年1学期	**1　九州地方の自然環境** ◎九州地方では，地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	九州地方を概観し，自然や人々の生活の特色を理解する。	現在も活動する火山が多く自然災害が多いという地域の特色に注目させる。	①地図や雨温図などから，自然環境を視点とした九州地方の特色を大まかに読み取り、九州地方の都道府県や地形の位置と名称を理解している。 ②温暖な気候や火山が多い地形，アジアに近いという位置の特色から，九州地方の人々の生活を大まかに考察している。

2年1学期	**2　火山と共にある九州の人々の生活** ◎火山は人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	火山の恵みと被害の両面を理解し，その利点の生かし方や防災への取り組みを考える。	火山が多いという自然環境の中で恵みと被害に直面する人々の生活のようすをとらえさせる。	①さまざまな資料から九州地方における火山の恵みや被害の実態について適切に読み取り、九州地方の自然環境を生かした産業や，災害，防災への取り組みなどを理解している。 ②火山のめぐみや被害の実態をもとに，九州地方の人々の生活向上について多面的・多角的に考察している。
2年1学期	**3　自然を生かした九州地方の農業** ◎火山活動の影響を受けた土地や温暖な気候を生かして，九州地方ではどのような農業が行われているのだろうか。	温暖な気候や火山活動の影響を受けた土地を生かした農業の実態をとらえ，その特色を理解する。	温暖な気候や火山灰地層という地域的特色が特色ある農業を生み出していることに気付かせる。	①さまざまな資料から九州地方の自然環境と農業との関連について適切に読み取り、九州南部の畜産やシラス台地での畑作，北部での稲作の実態を理解している。 ②温暖な気候や火山との関連などの自然環境を生かした農業の特色について，多面的・多角的に考察している。
2年1学期	**4　都市や産業の発展と自然環境** ◎アジアの国々に近いということが，都市や地域の産業の発展にどのような影響を与えているのだろうか。	アジアに近いという特色を生かして発展してきた都市や工業の歴史をとらえ，その特色を理解する。	アジアに近いという特色から福岡市や北九州工業地帯の発展と役割について考えさせる。	①地図やその他の資料からアジアに近いことで都市や工業が発達してきた実態を適切に読み取り、アジアに近いという立地から原燃料が調達しやすいことで発達した九州の工業について理解している。 ②アジアに近いという自然環境を生かした都市の発達や工業の特色について，多面的・多角的に考察している。
2年1学期	**5　南西諸島の自然環境と人々の生活や産業** ◎南西諸島の自然環境は，人々の生活・文化や歴史，産業とどのように関わっているのだろうか。	温暖な気候やアジアとの交流の歴史などに着目しながら，特色のある南西諸島での人々の暮らしについて理解する。	南西諸島の独特の文化や生活を世界やアジアにおける南西諸島の位置や歴史に着目しながら考えさせる。	①さまざまな資料からアジアに近いという位置と独自の文化や生活の発展との関連を適切に読み取り、アジアとの交流の歴史や軍事基地のある地域での生活について理解している。 ②世界やアジアにおける南西諸島の位置や歴史が独特の文化や生活をつくりだしていることについて多面的・多角的に考察している。
2年1学期	節の学習を振り返ろう **■節の問い■**　九州地方の自然環境は，人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	九州地方の基本的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	アジア地域との結びつきや自然災害の多発に着目しながら、九州地方の地域的特色やそこで生ずる課題に気を付けさせる。	①九州地方の自然環境や社会環境に着目して、九州地方の地域的特色を整理している。 ②第１節の問いを、単元の学習の成果を生かして多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、九州地方の地域的特色や九州地方の課題、これからの九州地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。

第2節　中国･四国地方 **■節の問い■**　中国･四国地方における交通網や通信網の整備は，人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。		**＜この節のねらい＞** 他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、中国・四国地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。		**＜この節の評価基準＞** ①地図や資料から，中国・四国地方の交通・通信網による結びつきを具体的にとらえ、他地域との結びつきに注目した視点で産業や生活の変化を理解している。 ②他地域との結びつきや産業の変容を，人や物の移動の量や方向から多面的・多角的に考察している。 ③中国・四国地方の歴史や地形，他地域との結びつきに関心をもち，それを主体的に追究している。
2年1学期	**1　中国･四国地方の自然環境** ◎中国･四国地方では，地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	中国・四国地方を概観し，自然や人々の生活の特色を理解する。	地域を山陰，瀬戸内，南四国の三つに分けて，気候の特色と地域の特色を関連付けてとらえさせる。	①雨温図を活用して，山陰，瀬戸内，南四国の気候の特色を適切に読み取り、中国・四国地方の地形や気候の特色を理解している。 ②瀬戸内が温暖で降水量が少ない理由を地形の特色と関連付けて多面的・多角的に考察している。
2年1学期	**2　交通網の整備と人々の生活の変化** ◎本州四国連絡橋や高速道路の開通は，人々の生活をどのように変化させたのだろうか。	本州四国連絡橋や高速道路の整備による地域の人々の生活の変化について考える。	交通網の整備によって他地域と結びついたことによる利点や問題点に気付かせる。	①さまざまな資料を活用して交通網の整備によって他地域と結びついたことによる地域の変化を適切に読み取り、本州四国連絡橋や高速道路の整備による地域の人々の生活の変化を理解している。 ②交通網の整備によって他地域と結びついたことによる利点や問題点を多面的・多角的に考察している。
2年1学期	**3　瀬戸内海の海運と工業の発展** ◎瀬戸内海に面した地域では，船を使った輸送を利用して，どのように工業を発展させてきたのだろうか。	海上交通の利点を生かした瀬戸内地域の工業の特色について考える。	海外とつながることによる利点や課題に気付かせる。	①さまざまな資料から，海上交通の利点を生かした瀬戸内地域の工業の特色を適切に読み取り、海上交通の利点を生かした瀬戸内地域の工業の特色を理解している。 ②海外とつながることによる瀬戸内地域の工業の利点や課題を多面的・多角的に考察している。
2年1学期	**4　交通網を生かして発展する農業** ◎瀬戸内や南四国で生産される農産物は，どのようにして競争力を高め，市場を広げてきたのだろうか。	他地域との結びつきを生かして全国展開を進めている瀬戸内や南四国の農業の特色について考える。	気候の特色を生かして特色ある農業が営まれていることに気付かせる。	①さまざなな資料から，他地域との結びつきを生かして全国展開を進めている瀬戸内や南四国の農業の実態を適切に読み取り、瀬戸内や南四国の農業の特色を理解している。 ②海外や他地域との競争が激しくなる中で行われる地域の努力や工夫を多面的・多角的に考察している。
2年1学期	**5　人々を呼び寄せる地域の取り組み** ◎過疎化や高齢化が進むなかで，交通網が整備されたことにより，地域にどのような変化が生じたのだろうか。	過疎化が進む山陰地域の，交通網の整備による変化について考える。	地域の持続発展に向けて，さまざまな努力がなされていることに気付かせる。	①さまざまな資料から山陰地域のさまざまな地域おこしの実態を適切に読み取り、山陰地域で行われている観光を中心とした取り組みを理解している。 ②過疎化が進む山陰地域の持続発展について，交通網の整備と観光業を中心に多面的・多角的に考察している。

2年2学期	節の学習を振り返ろう **■節の問い■** 中国･四国地方における交通網や通信網の整備は，人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	中国・四国地方の基本的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	地形や気候との関連や他地域との結びつきに着目しながら、中国・四国地方の地域的特色やそこで生ずる課題に気を付けさせる。	①中国・四国地方の自然環境や社会環境に着目して、中国・四国地方の地域的特色を整理している。 ②第２節の問いを、単元の学習の成果を生かして多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、中国・四国地方の地域的特色や中国・四国地方の課題、これからの中国・四国地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。
第3節　近畿地方 **■節の問い■** 近畿地方における自然環境や歴史的景観の保全は，人口の増加や産業の発展のなかで，どのように取り組まれてきたのだろうか。		**＜この節のねらい＞** 他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、近畿地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。		**＜この節の評価基準＞** ①地図や資料から，近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全について読み取り、環境保全に注目した視点から，近畿地方の地域的特色を理解している。 ②自然環境や歴史的景観の保全に注目しながら，そこに住む人々の生活や産業の変化などとの関係について，原因と対策，目的の面から多面的・多角的に考察している。 ③自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた近畿地方の地域的特色に関心をもち，自然環境や人々の生活，産業などと関連させながら，主体的に追究している。
2年2学期	**1　近畿地方の自然環境** ◎近畿地方では，地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	近畿地方を概観し，自然環境や人々の生活の特色を理解する。	南北の山地に着目して地形や気候の特色をとらえさせる。	①地図や雨温図から近畿地方の地形や気候の特色を適切に読み取り、近畿地方の地形や気候の特色を理解している。 ②南部，中央部，北部の特色を地形や気候の特色と関連付けて多面的・多角的に考察している。
2年2学期	**2　琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏** ◎京阪神大都市圏の水源である琵琶湖とその周辺では，環境保全のために，どのような取り組みが行われてきたのだろうか。	京阪神大都市圏の水源である琵琶湖の環境保全の重要性について考える。	琵琶湖から淀川を通って瀬戸内海に至る水運を生かして商業を発達させた大阪にも着目させる。	①さまざまな資料から琵琶湖の水質汚濁の状況や環境保全の取り組みなどを適切に読み取り、京阪神大都市圏の生活を支える水源としての琵琶湖の重要性について理解している。 ②琵琶湖の水質汚濁に対する原因や影響、対策などについて多面的・多角的に考察している。
2年2学期	**3　阪神工業地帯と環境問題への取り組み** ◎阪神工業地帯では，工業の発展と共に生じた環境問題に対して，どのように取り組んできたのだろうか。	阪神工業地帯の現状や課題を追究し，環境保全の取り組みについて考える。	内陸部に中小企業が多いことにも着目させる。	①さまざまな資料から阪神工業地帯の現状や課題を適切に読み取り、阪神工業地帯の環境問題や環境保全の取り組みを理解している。 ②大企業や中小企業に関する環境保全んみついての課題やその解決を多面的・多角的に考察している。

２年２学期	**4　古都京都・奈良と歴史的景観の保全** ◎京都と奈良では，歴史的景観を保全していくために，どのような取り組みが行われているのだろうか。	京都や奈良の町なみの変化や歴史的景観を守る取り組みについて考える。	地域で生活する人々の利便性を守りながら歴史と伝統を守っていくという視点に着目させる。	①さまざまな景観写真から歴史的景観を守るための工夫や努力を適切に読み取り、京都や奈良の歴史的景観を守るさまざまな取り組みを理解している。 ②地域で生活する人々の利便性を守りながら歴史と伝統を守るという地域の持続発展について多面的・多角的に考察している。
２年２学期	**5　環境に配慮した林業と漁業** ◎近畿地方で行われている林業・漁業では，観光を保全するために，どのような取り組みを行っているのだろうか。	近畿地方の林業や漁業の特色と環境保全の取り組みについて考える。	森林がもつ環境保全の役割に着目し，林業の大切さに気付かせる。	①さまざまな資料から林業や漁業がかかえる現状と課題を適切に読み取り、近畿地方の林業や漁業の特色と環境保全の取り組みを理解している。 ②林業や漁業と環境保全との関連や持続発展に向けての取り組みについて多面的・多角的に考察している。
２年２学期	節の学習を振り返ろう **■節の問い■**　近畿地方における自然環境や歴史的景観の保全は，人口の増加や産業の発展のなかで，どのように取り組まれてきたのだろうか。	近畿地方の基本的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	自然環境や歴史的景観の保全に着目しながら、近畿地方の地域的特色やそこで生ずる課題に気を付けさせる。	①近畿地方の自然環境や社会環境に着目して、近畿地方の地域的特色を整理している。 ②第３節の問いを、単元の学習の成果を生かして多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、近畿地方の地域的特色や近畿地方の課題、これからの近畿地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。
第4節　中部地方 **■節の問い■**　中部地方における産業の発展に，自然環境や交通網の整備はどのような影響を与えているのだろうか。		**＜この節のねらい＞** 他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、中部地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。		**＜この節の評価基準＞** ①さまざまな資料を活用して，中部地方の三つの地域の産業の特色と変化を読み取り、その地形や自然環境などにより異なる産業が発達したことを理解している。 ②中部地方の三つの地域において，さかんな産業に違いがある理由や，それぞれの産業が発達した理由について多面的・多角的に考察している。 ③産業の視点からみた中部地方の特色に関心をもち，自然環境や人々の生活と関連させながら，主体的に追究している。
２年２学期	**1　中部地方の自然環境** ◎日本の中央部に位置する中部地方では，地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	中部地方を概観し，自然環境や人々の生活の特色を理解する。	地域を東海，中央高地，北陸に三つに分けて，気候の特色と地域の特色を関連付けてとらえさせる。	①雨温図を活用して，東海，中央高地，北陸の気候の特色を適切に読み取り、中部地方の地形や気候の特色を理解している。 ②東海，中央高地，北陸の生活のようすを地形や気候の特色や違いと関連づけて多面的・多角的に考察している。

２年２学期	**２　中京工業地帯の発展と名古屋大都市圏** ◎名古屋を中心とする地域では，どのようにして自動車などの輸送機械工業が盛んになたのだろうか。	中京工業地帯や東海工業地域の特色をとらえ，輸送機械工業がさかんな理由を考える。	歴史的背景や大手企業の工場立地に着目させる。	①さまざまな資料から中京工業地帯や東海工業地域の特色を適切に読み取り、中京工業地帯や東海工業地域の特色を理解している。 ②歴史的背景や大手企業の立地に着目しながら東海で輸送機械工業がさかんな理由を多面的・多角的に考察している。
２年２学期	**３　東海で発達するさまざまな産業** ◎東海の産業は，自然環境や交通網などの条件を生かして，どのように発達してきたのだろうか。	都市向けの農業が発達した理由を考える。	気候や交通網の発達，大都市との位置関係などに着目させる。	①さまざまな資料から都市向けの農業が発達してきたことを適切に読み取り、抑制栽培や園芸農業について理解している。 ②気候や交通網の発達，大都市との位置関係などに着目しながら都市向けの農業が発達した理由を多面的・多角的に考察している。
２年２学期	４　内陸にある中央高地の産業の移り変わり ◎内陸で山あいの環境にある中央高地では，時代の変化とともに，どのような産業が発展したのだろうか。	時代の変化とともに移り変わってきた中央高地の産業の実態をとらえる。	社会の変化や自然環境の特色と関連付けて考えさせる。	①さまざまな資料から中央高地の産業の変化を適切に読み取り、中央高地の産業の特色を理解している。 ②中央高地の産業の変化を，社会の変化や自然環境の特色と関連付けて多面的・多角的に考察している。
２年２学期	**５　雪を生かした北陸の産業** ◎雪が多い北陸では，どのような産業が発達してきたのだろうか。	北陸で稲作や地場産業がさかんな理由を考える。	日本有数の豪雪地帯であるという特色に着目しながら地場産業の発達に気付かせる。	①さまざまな資料から北陸で稲作や地場産業がさかんな実態を適切に読み取り、豪雪と北陸の産業とのかかわりを理解している。 ②日本有数の豪雪地帯であるという特色に着目しながら，北陸で稲作や地場産業がさかんな理由を多面的・多角的に考察している。
２年２学期	節の学習を振り返ろう **■節の問い■**　中部地方における産業の発展に，自然環境や交通網の整備はどのような影響を与えているのだろうか。	中部地方の基本的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	自然環境と産業の発達との関連に着目しながら、中部地方の地域的特色やそこで生ずる課題に気を付けさせる。	①中部地方の自然環境と産業の発達との関連に着目して、中部地方の地域的特色を整理している。 ②第４節の問いを、単元の学習の成果を生かして多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、中部地方の地域的特色や中部地方の課題、これからの中部地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。
第5節　関東地方 **■節の問い■**　関東地方における人口の集中は，人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。		**＜この節のねらい＞** 他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、関東地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。		**＜この節の評価基準＞** ①関東地方の地域的特色やそれと関連する事象とそこに生ずる課題について理解している。 ②関東地方における人口の集中が成立する条件を、地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに着目しながら、関東地方に暮らす人々の生活に監視をもち、地域的特色や地域の課題を意欲的に追求しようとしている。

2年2学期	**1　関東地方の自然環境** **◎関東地方では，地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。**	地図や景観写真、雨温図などを活用して関東地方を概観し，自然環境や人々の生活の基本的な特色を理解する。	関東地方への人口集中の大きさに着目させる。内陸と沿岸とで違いがあることに気付かせる。	①地図や景観写真、雨温図などを活用して、関東地方の地形や気候の特色を調べ、まとめている。 ②内陸と沿岸とに分けて異なる地形や気候の特色について、多面的・多角的に考察し、表現することができる。
2年2学期	**2　多くの人々が集まる首都，東京** **◎首都であり，多くの人々が集まる東京には，どのような役割があるのだろうか。**	さまざまな資料を活用して日本や世界における，東京の役割を考える。	東京は人口やさまざまな機能が集中し、日本だけでなく世界にも大きな影響を与えていることに気付かせる。	①首都であり，多くの人が集まる東京の特色を調べ、まとめている。 ②昼夜間人口の違いに着目し、特に東京の中心部が果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。
2年2学期	**3　東京大都市圏の過密問題とその対策** **◎拡大する東京大都市圏では，どのような課題が生じてきたのだろうか。**	人口が集中することによって発展した産業の特色を考えるとともに、サービス業や商業がさかんな理由を，人口や交通網とのかかわりから考える。	東京大都市圏の中心部と周辺部では，役割が大きく異なるとともに都市部ならではの課題も生じていることに気付かせる。	①東京大都市圏の拡大の特色や課題を調べ、まとめている。 ②人口が集中することで発生した都市問題とその解決について多面的・多角的に考察し，表現している。
2年2学期	**4　人口の集中と第3次産業の発展** **◎人口が集中する地域で発達する産業には，どのような特色があるのだろうか。**	人口が集中することによって発展した産業の特色を考える。	人口集中と第3次産業の発達との関連に着目させる。	①人口が集中することによって発展した産業の特色や課題を調べ、まとめている。 ②人口が集中する地域で第3次産業がさかんになる理由や課題の解決を多面的・多角的に考察し，表現している。
2年2学期	**5　臨海部から内陸部へ移りゆく工場** **◎京浜工業地帯や北関東工業地域の形成は，関東地方の人口の変化とどのように関係しているのだろうか。**	関東地方の工業の発展や移り変わりを，人口の特色に着目して考える。	東京で出版・印刷業が多い理由を，人口集中と関連付けながら考えさせる。	①京浜工業地帯，京葉工業地域，北関東工業地域の特色を調べ、まとめている。 ②関東地方の工業の発展や移り変わりとその課題を人口の変化や市街地の拡大に着目しながら多面的・多角的に考察し，表現している。
2年2学期	**6　大都市周辺の農業と山間部の過疎問題** **◎東京大都市圏の周辺の農業地域や山間部は，人口の多い東京大都市圏と，どのように結びついているのだろうか。**	大消費地と深く関連する関東地方の農業の特色や山間部での過疎問題について考える。	UターンやIターンなどの近年みられる新しい動向にも着目させる。	①近郊農業の発達や利点について調べ、まとめている。 ②UターンやIターンなどの近年みられる新しい動向に着目しながら、山間部で深刻化する過疎問題の改善について多面的・多角的に考察し，表現している。

２年２学期	節の学習を振り返ろう **■節の問い■** 関東地方における人口の集中は，人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	関東地方の基本的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	関東地方の中心部と周辺部や他地域との結びつきに着目しながら、関東地方の地域的特色やそこで生ずる課題に気を付けさせる。	①関東地方の自然環境や社会環境に着目して、関東地方の地域的特色を整理している。 ②第５節の問いを、単元の学習の成果を生かして多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、関東地方の地域的特色や関東地方の課題、これからの関東地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。
第6節　東北地方 **■節の問い■** 東北地方における人々の生活や文化に，自然環境や交通網の整備はどのような影響を与えているのだろうか。		**＜この節のねらい＞** 他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、東北地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。		**＜この節の評価基準＞** ①地図や写真・雨温図などから，東北地方の自然環境の特色や，伝統的な祭りや工芸品の特色を読み取り、東北地方の地域的特色について理解している。 ②東北地方の産業の発達を写真や地図・グラフなどを活用してとらえ、人々の生活の変化と，それにともなう東北地方の産業の課題を多面的・多角的に考察している。 ③東北地方を伝統的な祭りや工芸品，町なみの特色など生活・文化の視点から、関心をもって主体的に追究している。
２年２学期	**1　東北地方の自然環境** ◎南北に長い東北地方では，地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	東北地方を概観し，自然環境や人々の生活の特色を理解する。	豪雪や厳しい寒さなど，厳しい自然環境の中で，人々が生活していることに気付かせる。	①地図や雨温図から東北地方の地形や気候の特色を適切に読み取り、東北地方の地形や気候の特色を理解している。 ②地形や気候などに着目し、東北地方の自然環境の特色を多面的・多角的に考察している。
２年２学期	**2　伝統行事と生活･文化の変化** ◎東北地方の伝統的な祭りや人々の生活は，どのように変化してきたのだろうか。	祭りをはじめとする東北地方の伝統文化を生かした観光業の発展とこれからを考える。	観光業の発展が，これからの東北地方の発展や復興に大きく影響することに気付かせる。	①さまざまな資料から，農業と祭りや交通網と観光業とのかかわりを適切に読み取り、東北地方の祭りや観光業の特色について理解している。 ②観光業を活用した東北地方の発展や復興について多面的・多角的に考察している。
２年２学期	**3　稲作と畑作に対する人々の工夫や努力** ◎東北地方の人々は，冷涼な気候の下で農業を発展させるために，どのような工夫や努力を行ってきたのだろうか。	冷夏などの厳しい自然環境を克服し発展させてきた東北地方の稲作や畑作の努力について考える。	厳しい自然環境を克服するだけでなく，冷涼な気候を生かした農業の工夫についても着目させる。	①さまざまな資料から，東北地方の農業の特色を適切に読み取り、東北地方の稲作や畑作の実態や工夫を理解している。 ②厳しい自然環境を克服し，発展させていくための努力を多面的・多角的に考察している。

2年2学期	**4　果樹栽培と水産業における人々の工夫や努力** ◎東北地方で盛んに行われている果樹栽培や水産業には，どのような工夫や努力がみられるのだろうか。	果樹栽培や漁業の発展がもたらした地域の人々の生活の変化について考える。	東日本大震災による漁業への被害や復興についても着目させる。	①さまざまな資料から，果樹栽培や漁業と人々の生活とのかかわりについて適切に読み取り、④東北地方での果樹栽培や漁業の特色について理解している。 ②果樹栽培や漁業の発展がもたらした地域の人々の生活の変化について多面的・多角的に考察している。
2年3学期	**5　工業の発展と人々の生活の変化** ◎東北地方の工業は，交通網の整備や人々の生活の変化とともに，どのように発展してきたのだろうか。	工業の発達がもたらした人々の生活の変化について考える。	震災による原子力発電所の事故をきっかけにして原子力発電にかわる新しいエネルギー源として再生可能エネルギーを活用する動きが活発化していることに気付かせる。	①さまざまな資料を関連付けて，交通網の発達と工業の発達との関連を適切に読み取り、工業の発達がもたらした人々の生活の変化について理解している。 ②工業の発達が東北地方の人々の生活をどのように変化させたかを多面的・多角的に考察している。
2年2学期	節の学習を振り返ろう **■節の問い■**　東北地方における人々の生活や文化に，自然環境や交通網の整備はどのような影響を与えているのだろうか。	東北地方の基本的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	東北地方の人々の生活や文化と自然環境や交通網の発達との関連に着目しながら、東北地方の地域的特色やそこで生ずる課題に気を付けさせる。	①東北地方の自然環境や社会環境に着目して、東北地方の地域的特色を整理している。 ②この節の問いを、単元の学習の成果を生かして多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、東北地方の地域的特色や東北地方の課題、これからの東北地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。
第7節　北海道地方 **■節の問い■**　北海道地方の自然環境は，人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。		**＜この節のねらい＞** 他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、北海道地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。		**＜この節の評価基準＞** ①地図や雨温図，統計資料などから北海道地方の地域的特色に関する情報を読み取り、北海道地方について，自然環境に注目した視点から地域的特色を理解している。 ②産業や開発の歴史に関する特色あることがらに注目して，自然環境や外国とのかかわりなどと関連づけて多面的・多角的に考察している。 ③自然環境に注目した視点から，自然環境・産業や都市の発展と変化などに関心をもち，北海道地方の特色を主体的に追究しようとしている。
2年2学期	**1　北海道地方の自然環境** ◎北海道では，地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	北海道地方を概観し，自然や人々の生活の特色を理解する。	厳しい北海道の自然環境に合うように考えられたさまざまな工夫に着目させる。	①地図や雨温図から北海道地方の地形や気候の特色を適切に読み取り、北海道地方の地形や気候の特色を理解している。 ②自然環境に注目した視点から北海道地方の自然環境の特色を多面的・多角的に考察している。
2年2学期	**2　雪と共にある北海道の人々の生活** ◎北海道の人々は，雪をどのように克服したり，利用したりしているのだろうか。	北海道の人々の雪と関わる取り組みや工夫を理解する。	雪による地域の人々の苦労だけでなく、雪の恵みや雪に備える工夫など、地域の人々の努力に気付かせる。	①景観写真などから北海道地方の人々の雪との関わりを読み取り、雪に対する工夫や生かす試みなどについて理解している。 ②北海道地方における雪に対する課題の克服や雪の利用などについて多面的・多角的に考察している。

２年２学期	**3　厳しい自然環境を克服してきた稲作** ◎温暖な気候の下で行われる米作りが，寒冷な北海道で盛んに行われているのはなぜだろうか。	厳しい寒さや農業に適さない土地という悪条件を乗り越えてきた稲作の歴史を考える。	厳しい自然条件を乗り越えてきた人々の努力に着目させる。	①さまざまな資料から，開拓によって農地を拡大してきた実態を読み取り、泥炭地の土地改良や稲の品種改良について理解している。 ②石狩平野が全国有数の米の生産地になった理由を，開拓の歴史に着目しながら多面的・多角的に考察している。
２年２学期	**4　自然の恵みを生かす畑作や酪農，漁業** ◎北海道で，畑作や酪農，漁業が盛んになったのはなぜだろうか。	大規模に展開する北海道の畑作や酪農，漁業の特色を考える。	厳しい自然条件に対して適切に対応してきた地域の人々の努力に着目させる。	①さまざまな資料から，北海道の畑作や酪農，漁業が大規模であることを読み取り、北海道の畑作や酪農，漁業の特色を理理解している。 ②畑作や酪農，漁業の規模が大きく変化した理由を，厳しい自然環境との関わりに着目しながら多面的・多角的に考察している。
２年２学期	**5　北国の自然を生かした観光業** ◎北海道では，観光業をどのように発展させてきたのだろうか。	北海道の豊かで特色ある自然環境を生かして発達した観光業の特色を考える。	自然環境の保全と観光業の発達の両立を目指したエコツーリズムの在り方について具体的に考えさせる。	①さまざまな資料から，北海道における観光業の発展と観光客の増加を読み取り、北国の自然を生かした観光業の特色を理解している。 ②観光客の増加に伴う自然破壊の対策とエコツーリズムについて多面的・多角的に考察している。
２年２学期	節の学習を振り返ろう **■節の問い■**　北海道地方の自然環境は，人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	北海道地方の基本的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	北海道地方の厳しい自然環境やそれを克服してきた人々の努力に着目しながら、北海道地方の地域的特色やそこで生ずる課題に気を付けさせる。	①北海道地方の自然環境や社会環境に着目して、北海道地方の地域的特色を整理している。 ②第７節の問いを、単元の学習の成果を生かして多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、北海道地方の地域的特色や北海道地方の課題、これからの北海道地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。

※第3部第3章 日本の諸地域 の「学習を振り返ろう」は7つの地方のうち1つを選択して行うよう想定している。

第４部　地域の在り方

第１章　地域の在り方 **■章の問い■**　地域をよりよくするためには，どのようなことに取り組むとよいのだろうか。	**＜第4部第1章のねらい＞** 空間的相互依存作用や地域などに着目して，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ①地域の実態や課題解決のための取組を理解させる。 ①地域的な課題の解決に向けて考察，構想したことを適切に説明，議論しまとめる手法について理解させる。 ②地域の在り方を，地域の結び付きや地域の変容，持続可能性などに着目し，そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。 ③地域の在り方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決させる。	**＜第4部第1章の評価規準＞** ①地域の実態や課題解決のための取組を理解している。 ①地域的な課題の解決に向けて考察，構想したことを適切に説明，議論しまとめる手法について理解している。 ②地域の在り方を，地域の結び付きや地域の変容，持続可能性などに着目し，そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ③地域の在り方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。

２年２学期	**１　課題を把握しよう** **◎地域が抱えている課題は何だろうか。その課題を発見し，追究するテーマを設定しよう。**	持続可能な地域の在り方を構想するために、地域の地理的な課題を把握し、その解決に向けた追究の問い（テーマ）を設定する。	これまでの学習を通して身に付けてきた地理的な視点（注目する視点）を生かし、対象地域の課題を見出し、追究する問い（テーマ）を設定させる。 単元を通して主体的に課題を追究、解決するための見通しを持たせる。	②地域の在り方を考える際に追究する問いを，地理的な見方・考え方や注目する視点を生かしながら設定することができる。 ③地域の在り方について，課題を主体的に追究，解決するための見通しを持つことができている。
２年２学期	**２　地域をとらえよう** **◎地域の実態を把握するためには，どのような手順で進めるとよいのだろうか。**	追究のテーマに基づいた調査計画を立てるとともに、諸資料から地域の実態を把握する。	地図や統計などの諸資料を積極的に収集させたり、必要な情報をグラフや主題図にまとめるなど、収集した資料を適切に活用させる。	①課題解決に向けて計画を立てるとともに、地域の実態について諸資料からさまざまな情報を効果的に調べ，まとめる技能を身に付けている。 ③よりよい社会の実現を視野に、地域の特色や課題などの実態を把握しようと，主体的に資料を収集しようとしている。
２年２学期	**３　課題の要因を考察しよう** **◎地域が抱える課題の要因を考察するには，どのようなことに着目するとよいのだとうか。**	調査結果を分析したり、他地域の状況と比較したりすることを通して、地域の課題の要因を考察する。	構想している地域独自の要因（地方的特殊性の視点）及び、類似の課題を抱える他地域における課題の要因（一般的共通性の視点）の両方の視点から、課題の要因を多面的・多角的に考察させる。	①地域の課題の要因を、他地域の状況などとも比較・関連付けながら理解している。 ②地域の課題の要因について，他地域の状況や地域内独自の要素に着目し，多面的・多角的に考察している。
２年２学期	**４　課題の解決に向けて構想しよう** **◎課題の解決に向けて構想するには，どのような点に気をつけるとよいのだろうか。**	地域の課題を解決するために必要な取り組みを考え、よりよい地域の在り方を主体的に考察・構想したり、議論したりする。	持続可能な社会をめざすことを意識させるとともに、中間発表などの形で考察・構想したことを交流させ、実現可能性や持続可能性について議論させる。	①地域の課題を解決するために必要で、持続可能性のある取り組みは何か、他地域の事例と比較・関連付けたり、すでに行われている取組を参考に整理したり、議論を通したりして見出している。 ②地域の課題を解決するために必要な取り組みを多面的・多角的に考察するとともに、よりよい地域の在り方を主体的に考察・構想し、表現している。 ③持続可能な社会をめざす一員であるという自覚をもち、持続可能な地域の在り方を主体的に追究・解決しようとしている。
２年２学期	**５　課題の成果を発信しよう** **◎構想した成果を分かりやすく伝えるためには，どのようにするとよいのだろうか。**	構想の成果を分かりやすく説得力ある伝え方でまとめ、発表会や提言などの形で発信する。	ポスターやプレゼンテーションソフトを活用した発表の仕方について身に付けさせる。	①発表会での他の生徒の発表などを通して、地域の実態における他のさまざまな側面や、それに対する課題解決のための取組を理解している。 ①発表会で他の生徒の発表からよりよい発信の方法を読み取るとともに、プレゼンテーションソフトを活用した発表の仕方などについても理解している。 ③「地域の在り方」の学習について、粘り強く考察・構想したり、学習の見通しを基に、自ら工夫・調整しながら主体的に学習に取り組むことができたかを振り返っている。